

【関連資料】

フォーマット(案)

国名	研究・ガイドラインの別	研究名 (author, title, etc)・ガイドライン名(URL等、年度)
	研究 ・ ガイドライン	
アルゴリズムのフロー		
<p>検診を受けて結果「陰性」(=次回の検診対象者)になる割合: (%)</p> <p>検診を受けて結果「陽性」(=精密検査対象)になる割合(要精検率): (%)</p> <p>検診「陽性」者のうち、ただちに精密検査(コルポ診+生検)の対象となる割合: (%)</p> <p>検診「陽性」者のうち、トリアージ※ の対象となる割合: (%)</p> <p>トリアージの対象となった場合、トリアージ検査で陰性となる割合: (%)</p> <p>要精検者のうち精密検査の結果、CIN1など、医療機関でのフォローアップの対象となる割合: (%)</p>		
<p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞診ASC-USのHPV検査、 ・HPV検査陽性の場合のトリアージとしての細胞診 		
要精検者を通常の検診対象者に戻す条件		
医療機関でのフォローアップ対象者を通常の検診にもどす条件		

検診手法	A	B	C	D
	細胞診単独 (±トリアージ)	HPV検査単独 (±トリアージ)	HPV検査＋ 細胞診併用	その他
年齢の上限/下限 or 検診対象年齢	歳	～	歳	
検診間隔				
生涯受診回数 (ガイドラインの場合など、わかる場合)		回		
トリアージ法		細胞診、HPV検査、その他()、なし		
細胞診の採取・処理方法		従来法、液状検体法、従来法と液状検体が混在、指定なし、記載なし、その他()		
HPV検査の種類		ハイリスクHPV検査、16, 18型簡易判定法、DNA型判定 その他()		
HPV検査のキット名				
精密検査結果の把握方法 (国家レベルの一元的なデータベースの有無)	有	無	不明	
がん罹患の把握方法 (国家レベルの一元的なデータベースの有無)	有	無	不明	
本研究・ガイドラインのstrong point (追跡データの把握率が高い etc)				
本研究・ガイドラインで考えられるlimitation (サンプルサイズが小さい etc)				
HPVワクチンについての記載/コメント				
子宮頸部腺癌についての記載/情報				
本アルゴリズムをわが国に適応する際の問題点 (精度管理や保険制度上の問題など含めて)				
大項目2: 精度管理指標(プロセス指標、技術・ 体制的指標)の策定を念頭に置いた、このアル ゴリズムに関するコメント				
大項目3: 新たながん検診として導入する場合の 準備プロセスに関するコメント				
その他のコメント				
担当者氏名				